

PRESS RELEASE (2014/09/18)

新水産資源創出プロジェクト進捗報告会を開催 —「マサバの完全養殖」商品化に向けて—

概要

九州大学と唐津市は、唐津市水産業の新しい目玉となる新水産資源創出プロジェクトを推進しており、そのプロジェクトの一環として、マサバの完全養殖を目指しています。現在、卵から育てた種苗を養殖しており、商品化について一定の目途が経ったことから、試験出荷を行う見通しとなりました。また、呼子鎮西旅館組合の協力により、その成果物の販売が行われます。

平成 26 年 9 月 25 日（木）、国民宿舎波戸岬（唐津市鎮西町）にて、この新水産資源創出プロジェクトの進捗報告会を開催します。

■背景・内容

九州大学と唐津市は、「国立大学法人九州大学と唐津市との協力協定書」（平成 19 年 2 月 28 日締結）に基づき、産業の高度化に関する活動の一環として、両者が相互に連携・協力し、新しい水産資源の創出及び水産業の高度化など、唐津市における水産業の振興を図ることを目的に、唐津市が行う「唐津水産業活性化支援事業」に関する実施協定を締結しています（[平成 21 年 6 月 21 日付けプレスリリース参照](#)）。

これに基づき、両者は唐津市水産業の新しい目玉となる新水産資源創出プロジェクトを推進しており、「マサバの完全養殖」プロジェクトは、その取組の一環です。現在、卵から育てた種苗を養殖し、商品化について一定の目途が経ったことから、試験出荷を行う見通しとなりました。また、呼子鎮西旅館組合の協力により、その成果物の販売が行われます。

この度、新水産資源創出プロジェクトの進捗報告会を以下のとおり開催します。

1. 日時 平成 26 年 9 月 25 日（木）午後 1 時 30 分～
2. 場所 国民宿舎波戸岬（唐津市鎮西町波戸 1082）
3. 主催 九州大学、唐津市
4. 内容 マサバ完全養殖プロジェクト進捗報告（詳細別紙のとおり）
5. その他 進捗報告会后、同会場にて呼子鎮西旅館組合によるサバ披露会を予定しています。

※披露会に出席される方は、別紙申込書に記入の上、9/22(月)15 時までに FAX でお申し込みください。

■効果・今後の展開

- ・種苗生産・養殖技術の確立・改良
- ・技術の普及（種苗生産業者・養殖業者）
- ・餌の開発（廉価で高品質・ブランドイメージ向上）
- ・試験販売（H24 産 9 月～、H25 産秋以降）
- ・料理の開発・提供（飲食店・旅館など）
- ・ブランド化

【お問い合わせ】

九州大学
大学院農学研究院
唐津水産研究センター共同研究部門
准教授 長野
電話：0955-51-7470

唐津市
農林水産商工部水産課
担当：高森、新
電話：直通0955-72-9130
(内線2433)

別紙

唐津市水産課 行き

F A X 0 9 5 5 - 7 2 - 9 2 4 1

呼子鎮西旅館組合によるサバ披露会

出欠連絡票

御所属	
御芳名	
ご連絡先	☎

※ 9月22日（月）15時までにFAXでお申し込みください。

「マサバの完全養殖」プロジェクト



資料

平成26年9月25日(木)

唐津市農林水産商工部水産課

九州大学大学院農学研究院

プロジェクトが目指すこと

- 新規養殖魚種として、マサバの完全養殖技術を開発し、**漁業の活性化**を図る
- 養殖マサバを使ってイカ料理に次ぐ目玉料理を開発・提供してもらい、**地域の活性化**を図る
- 先端情報を発信することにより**唐津のイメージアップ**を図る

これまでの成果（種苗生産技術開発）

- H24年度 3cm種苗 約12,000尾生産
（津屋崎） 13cm種苗 約3,000尾を試験養殖へ
- H25年度 4~7cm種苗 約12,000尾生産
（津屋崎） 4~7cm種苗 約12,000尾を試験養殖へ
- H26年度 7~8cm種苗 約21,000尾種苗生産
（相 賀） 7~8cm種苗 約20,000尾を試験養殖へ

これまでの成果（養殖技術開発）

- H24年度 13cm種苗 約3,000尾（高串海面）
- H25年度 7～8cm種苗 約7,000尾（高串海面）
 4～6cm種苗 約5,000尾（星賀陸上）
- H26年度 7cm種苗 約13,000尾（唐津湾海面）
 8cm種苗 約7,000尾（高串海面）

試験養殖場所及び施設とマサバの大きさ



高串海面イケス



星賀陸上水槽

H24生産分	高串(29.1cm 約400g)
--------	------------------

H25生産分	高串(25.7cm 237.9g)
--------	-------------------

星賀(27.9cm 266.3g)

完全養殖マサバの特徴

- 脂の乗り
一年中一定以上の脂の含有
- 安全安心
寄生虫(アニサキス)の寄生機会ほとんど0
- 活魚流通可能
活サバでのメニュー開発が可能

今後の取組み

- 種苗生産・養殖技術の確立・改良
- 技術の普及（種苗生産業者・養殖業者）
- 餌の開発（廉価で高品質・ブランドイメージ向上）
- 試験販売（H24産9月～、H25産秋以降）
- 料理の開発・提供（飲食店・旅館など）
- ブランド化